

自転車タクシー 春から楽しんで



自転車タクシーのドライバー講習を受けた後、試運転して意見を交わす学生(京都市下京区)

鳥原よ輝け 学生ら工夫

京都市下京区の鳥原地区を、新たな観光地として盛り上げていく試みを学生らが進めている。今春には、京都駅や梅小路公園から同地区まで自転車タクシーの運行を始める。学生がドライバーを担い、車内では歴史ある鳥原の名所を紹介する手づくりの映像を流す計画で、地域の活性化につなげる。

「鳥原キラリ☆プロジェクト」。産学連携などを通じて学生に社会教育の場を提供するNPO法人「グローバル人材開発センター」(下京区)と、自転車タクシーを使ってまちづくりに取り組む団体「タク・タク」(同区)が企画した。鳥原にゆかりのある新選組が昨年、結党150年を迎えたのを機に、同地区の魅力を住民らと世代間交流

路地番号順 観光ルート検討

しながら考える機会をつくった。学生らは、一部の路地に番号が付いていることに着目し、番号順にたどりながら地区内を巡回する観光ルートの設定を検討している。

昨年12月、京都産業大と龍谷大の学生6人が、住民らを交えて協議会を開き、鳥原大門や角屋を撮影する手はずや絵コンテづくりなど、PR動画製作の準備に入った。2月末の報告会で進捗や完成映像を発表し、その後、本格的にプロジェクトを開始させる。京都産業大の越後諒一さん(22)は「長期的に活動するためにも、積極的に地元の方と関わりたい」と話す。随時学生メンバーを募集する。問い合わせは同センター ☎075-(283)0027。(森大樹)

1月8日(水)京都新聞朝刊 21面(地域)に当センターの取組が掲載されました。

京都市下京区の鳥原地区を、新たな観光地として盛り上げていく当センター学生事業部の取組内容となります。

本プロジェクトでは随時学生メンバーを募集しています。

観光ルート開発、まちづくりに興味にある学生の皆さんぜひご参加ください。

学生事業部参加の問い合わせはグローバルセンター事務局 担当西垣まで [TEL075-283-0027]